

RE雨宮 雨宮μ風林火山8ターボ by GReddy



13B-MSPエンジンをベースにTD07タービンを装着しているのがRE雨宮のRX-8だ。ロールバーもシッカリと組み込み、完全にサーキットアタック号としている。パワー的には400psを目指すとか。エアロパーツはもちろんRE雨宮オリジナルのフルキットで、ヨソでは絶対に味わえないスタイルを生み出している

トップシークレット ER34



4枚ドアのER34にRB26DETTを載せて650psものパワーを発揮させているのがトップシークレットだ。オリジナルのG-FORCEエアロキット(R34 GT-R用)とR34 GT-Rの前後フェンダーを装着して、見た限りでは完全にGT-R仕様となっている

スーパーオートバックス  
かしわ沼南 re plus Z33



エアロパーツを中心にスーパーオートバックスかしわ沼南のオリジナルブランドであるreplus/パーツを中心にして製作されたZ33。製作コンセプトはベース車の高級感やスポーツテイストを損なうことなく独自のスタイルを打ち出すというもの。マフラー/車高調も同ブランドの試作品で固められている

スーパーオートバックス千葉長沼  
創造系NC型ロードスター2005



ワンオフで製作したフロントまわりでシャープな印象に生まれ変わったロードスター。ヘッドライトはプロジェクトランプを採用して、ボディ自体もワイド化されているのが特徴的だ。スーパーオートバックスらしくオーディオもシッカリとインストールされていた

カザマオートサービス S15 D1 SPEC



カザマの新作デモカーがこのS15 D1 SPEC。車名のとおりD1グランプリに参戦するマシンだ。筑波サーキットで59秒台を出したS15シルビアをベースに、さらに進化させていく予定だ。エンジンは2リットルのままでトラスのT67タービンを装着する。外装はPROMODEブランドのフルキットとなっている。足まわりはHKSのMAX-D'をベースにしたカザマオリジナル

Bee★R B324R



ビーレーシングが展示していた車両は今井サンご自慢のB324R。R32スカイラインをベースにR34フェイスにするキットで、ただいま人気沸騰中! 単純にR34のフェイスをスワップするだけじゃなく、バンパーの長さなどは全体のバランスを考えたらうえて決定されたもので、実際のR34より若干伸びているとか。手前のB324Rは河村隆一号

チューニングカーが勢揃い!  
デモカーを  
要注目の総チェック!

オートサロンの見物といえば会場内に展示されたデモカー! 定番メニューから奇抜なものまでいろいろなチューニング&ドレスアップが施されたデモカーをみてみよう!!



セコハン with GT WORKS S2000



D1マシン初のホンダ車となる寺崎 源選手のス2000はスーパーチャージャー仕様。排気パーツは寺崎選手のショップ、GTワークス製を使用している。外装はASM製で前後フェンダーともワイド化を図っている。装着タイヤはフロント=215/45-17、リヤ235/40-17のRE-01Rとなっている